

令和2年3月13日

宮津市議会議長 北仲 篤 様

宮津市長 城 崎 雅 文

インバウンドを中心とした観光に関する提言書に係る
取組について（回答）

上記のことについて、下記のとおり回答します。

記

【提言】

外国人の目線で、外国人観光客に安心して訪れていただくために、観光情報にアクセスできるプラットフォームの整備をすること。

【取組状況】

本市においては、観光情報の発信や魅力あるコンテンツづくりなどを中心的に担う天橋立観光協会及び一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）の取組を支援し、インバウンドの受入環境の向上等に向けて次のとおり取り組んでいます。

- 1 天橋立観光協会の多言語（英語、中国語、韓国語）ホームページにおいて、お勧め周遊ルート、観光スポット、食事処、宿泊施設及び交通アクセスのほか、イベント情報や旬の見所など閲覧内容を徐々に増やすとともに、情報の集約化に取り組み、アクセス数も増加傾向にあります。

また、当該多言語ホームページについては、昨年5月から、近隣市町の中では数多くの外国人観光客が訪れている豊岡市の一般社団法人豊岡観光イノベーション（豊岡DMO）の多言語ホームページとの相互リンクを行い、外国人がアクセスしやすい環境づくりを進めています。

○天橋立観光協会のホームページのアクセス数（H30年度）	約130万件
うち外国人アクセス数	約7.5万件

- 2 海の京都DMOにおいては、平成31年4月から外国人人材を1名雇用し、事業所への翻訳サービスや多言語対応ガイドの育成、外国人目線での多言語ホームページでの情報発信等に取り組んでいるとともに、新浜の町並みや宮津おどりなどの日本遺産「丹後ちりめん回廊」の構成文化財を紹介するため、文化庁の補助事業を活用して、市内15ヶ所に多言語案内版を整備し、看板に貼付のQRコードでホームページに誘導して説明書きを閲覧いただけるよう多言語案内の充実に取り組んでいます。

更に、現在、観光庁の補助事業を申請しており、採択されれば、他の観光資源にも同様に、QRコードの活用による多言語案内の充実を図っていくこととしています。

また、市設置の他の既存の案内看板についても、市において、QRコードによる多言語案内について検討していくこととしています。

今後とも、インバウンドの推進に向けて、ホームページの情報内容等の充実や情報

を取得しやすい環境づくり等を観光協会及び海の京都DMOと連携して取り組んでまいります。

QRコード付き案内看板



【他の意見に対する取組状況】

意見① 外国人の目線で更なるまちづくり施策をすすめられたい。

【取組状況】

1 マリオットグループのホテル立地を契機に、更なるインバウンドの受入体制を整備するため、昨年11月にまちなかの事業者、住民団体、金融機関、関係団体などで構成する「まちなかインバウンド受入協議会」を設立し、インバウンド対応に関する講演会や食に関するセミナーを開催し意識醸成を図るとともに、食やコト消費などの具体の取組について協議を進めているところであります。

今後、更に議論を深め、事業者が行う食やサービス等のおもてなしの向上に向けた取組を海の京都DMO等関係団体と連携し、サポートしてまいります。

2 海の京都DMOの取組との連携

(1) 海の京都DMOで雇用している外国人人材が、外国人目線による天橋立をはじめとした海の京都エリアにある資源について、外国人の目に止まる素材を掘り起こし、多言語ホームページの内容充実を図るほか、海外の旅行会社やメディア等を対象とした商談会、セールスコール及びファミトリップなど誘客に向けたピーアールに取り組んでいます。(一部再掲)

(2) 平成30年度から多言語対応ガイド育成に取り組んでおり、その受講者によるガ

イドグループが組織されつつあります。その中で、宮津市の受講者が、本年3月から、多言語ローカルガイド（宮津市では1名が起業）として活動されており、今後、天橋立観光協会と連携し、外国人を対象としたまち歩きツアーの実施に向けて調整していくこととしております。（一部再掲）

- (3) 2次アクセスとなる市内の路線バスについて、外国人が利用しやすいように、バス停をナンバリングする取組が進められており、本年3月には完了する予定とお聞きしています。

なお、京都丹後鉄道は、既に整備されています。

意見② 外国人観光客に安心して訪れていただくために、公衆無線LAN(Wi-Fi)と個店のWi-Fi整備との費用対効果を考慮し進められたい。また、将来における5G通信網の整備と宮津市が整備したNTT光ファイバー網の活用も含め様々な方法も考慮されたい。

【取組状況】

多くの観光客が来訪する宮津駅、天橋立駅、道の駅、観光案内所などの公共的な施設については、概ね整備は完了しています。

民間施設については、事業者による整備を基本とし、その整備状況は、主要観光スポットではビューランドは整備済み、傘松公園及び観光船乗り場については、整備に向けて検討中で、また、市が実施したアンケート調査において、天橋立エリア及び市街地エリア)の宿泊施設、食事処については、一定整備が進んできている状況であります。

いずれにしましても、まちなかインバウンド受入協議会や「海の京都」天橋立地区協議会において、未設置施設等への対応について協議を進めていくこととしています。

なお、ご提案いただいた5G通信網の活用につきましては、今後、研究してまいりたいと考えています。